

漁海況情報第9報 (2015年12月16日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

本県海域の表面水温は12～15℃台となっています。100m深水温は13～14℃台となっており、5℃を指標とする親潮系冷水は波及していません。

宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は、12～15℃台となっており、142° E 以西で平年より低めとなっています。100m深水温は13～14℃台となっており、平年並みから2℃程度高めとなっています。5℃を指標とする親潮系冷水は本県海域には波及していません [P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。

水温鉛直断面図をみると、各ラインとも表層から120m深まで13～15℃台の水温が分布しています [P2.水温鉛直断面図]。

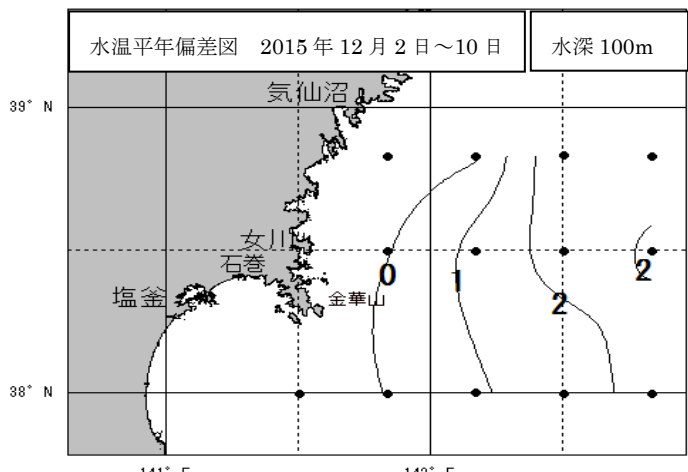
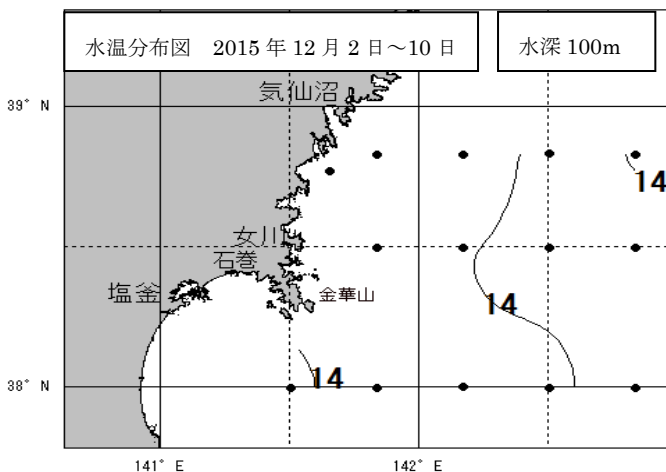
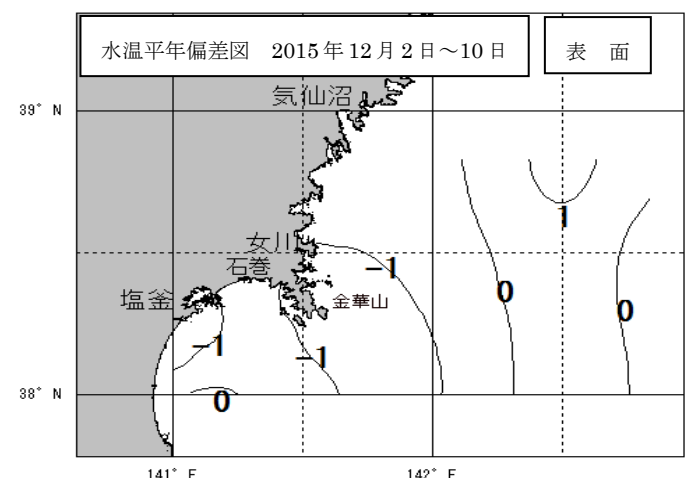
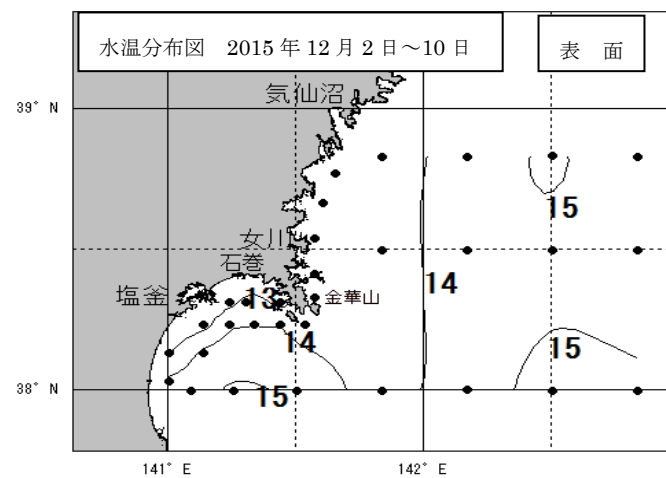
(一社) 漁業情報サービスセンター配信の東北海域漁海況情報(表面水温)によると、親潮第一分枝の先端は青森沖で停滞していますが、親潮系冷水が沿岸水と混合しながら沿岸沿いを南下しています [P2.東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

12月上旬の定地水温は9～14℃台となっています。平年値との比較では、気仙沼(杉ノ下)、江島、田代島及び佐須浜ともに「平年並」となっています [P2.定地海洋観測結果]。

海底直上水温については、11～15℃台となっており、前年よりも高めとなっています [P3.海底直上水温図]。

・水温水平分布図

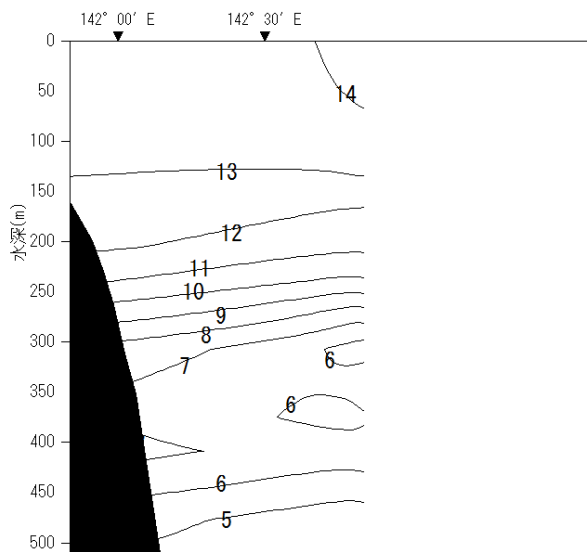
・水温平年偏差図(現在水温と平年水温との差)



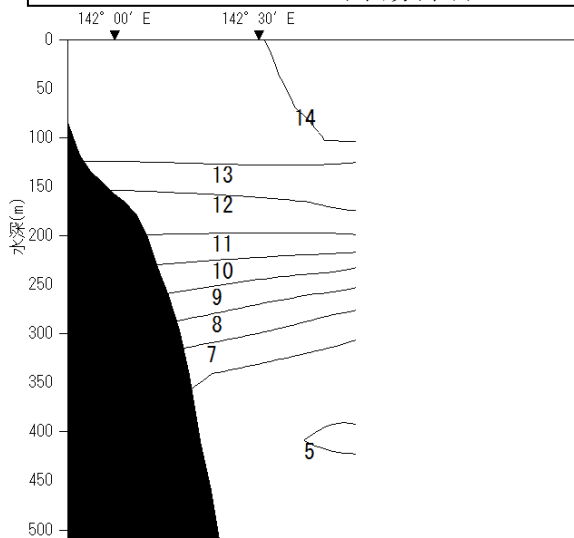
※ 観測はみやしおと開洋が実施しました。

・水温鉛直断面図

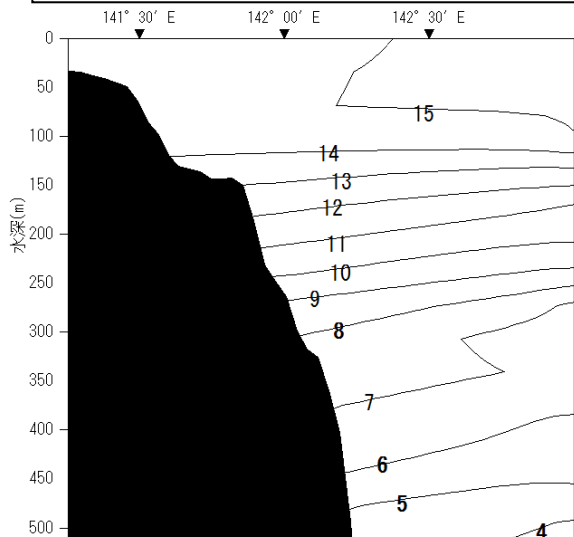
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

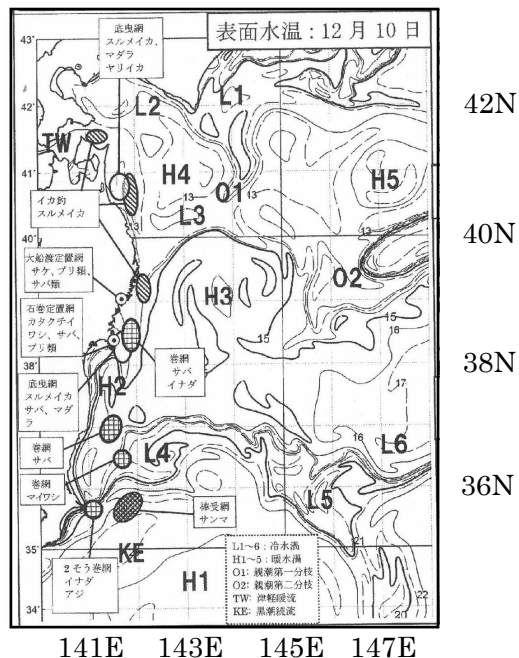


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2015年12月10日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター

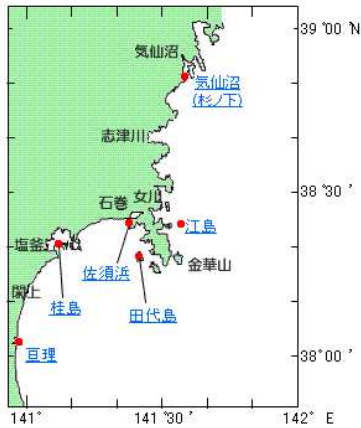


特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

(12月10日表面水温)

- ・親潮第一分枝 (O1) は勢力を強め、沿岸水と混合しながら南下し、三陸～福島沿岸で 12～13℃台、常磐～房総沿岸では 14℃台に降温。
- ・第二分枝 (O2) は沖合 145°～151E を西南へ移動、14℃台先端は亶理沖。
- ・黒潮続流 (KE、20～23℃台) から分岐した暖水 (15～16℃台) は 142°～145° E を亶理沖まで北上して三陸沖暖水渦 (H2) を維持し、常磐～房総では距離 10～20 海里まで接近。

・定地海洋観測



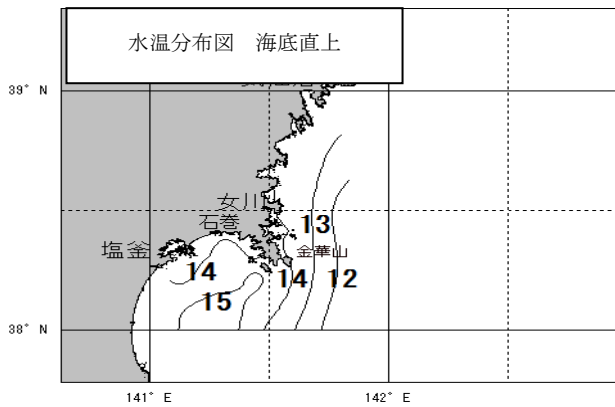
観測点	12月上旬		平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	12.4℃	平年並み	-0.4℃	0.1℃
江島	14.3℃	平年並み	0.5℃	1.7℃
佐須浜	12.4℃	平年並み	0.4℃	1.1℃
桂島	9.1℃	-	-	-0.5℃
亶理	11.7℃	-	-	-0.4℃

※田代島は自動観測装置による観測を中断しています。
 ※平年差：気仙沼(杉ノ下), 江島 (30年), 佐須浜 (10年)
 桂島 (平成24年3月から観測開始)
 亶理 (平成24年10月から観測開始)

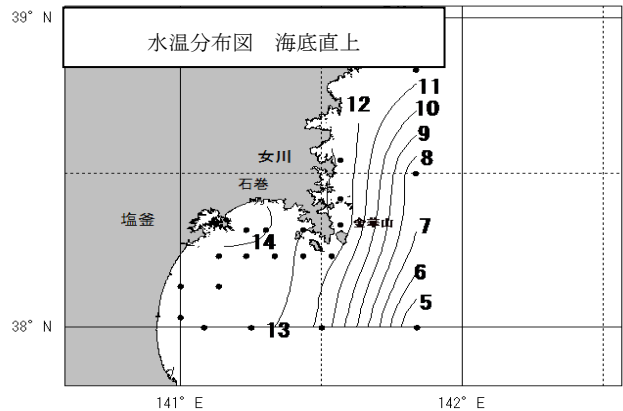
※定地海洋観測結果は、<http://www.miyagi-suisan-navi.jp/> でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2015年12月2日～10日)

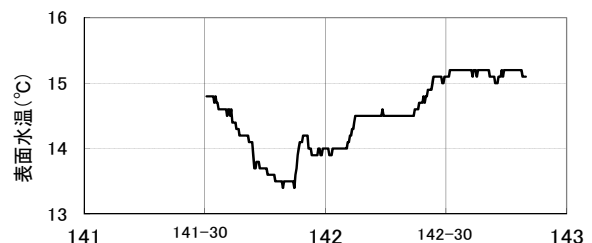
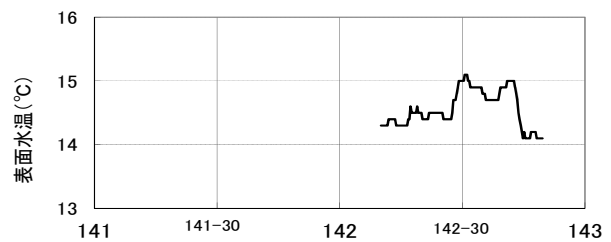
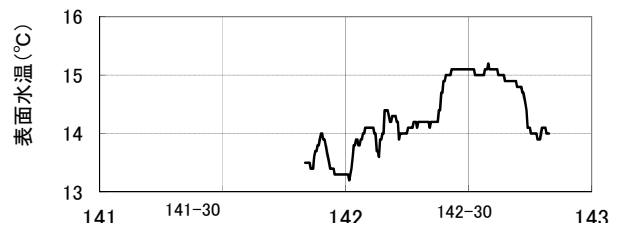
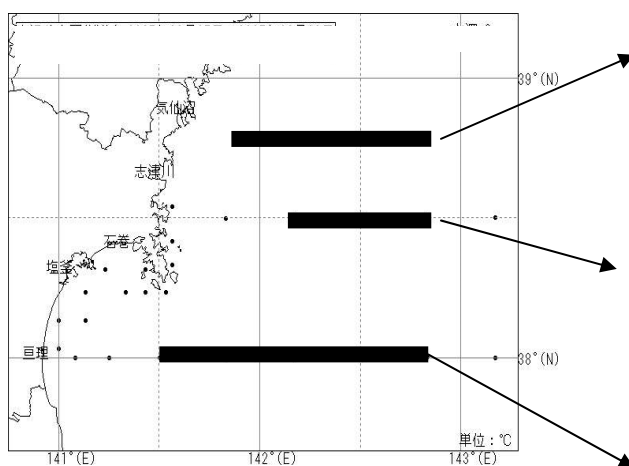


・海底直上水温(2014年12月4日～11日)



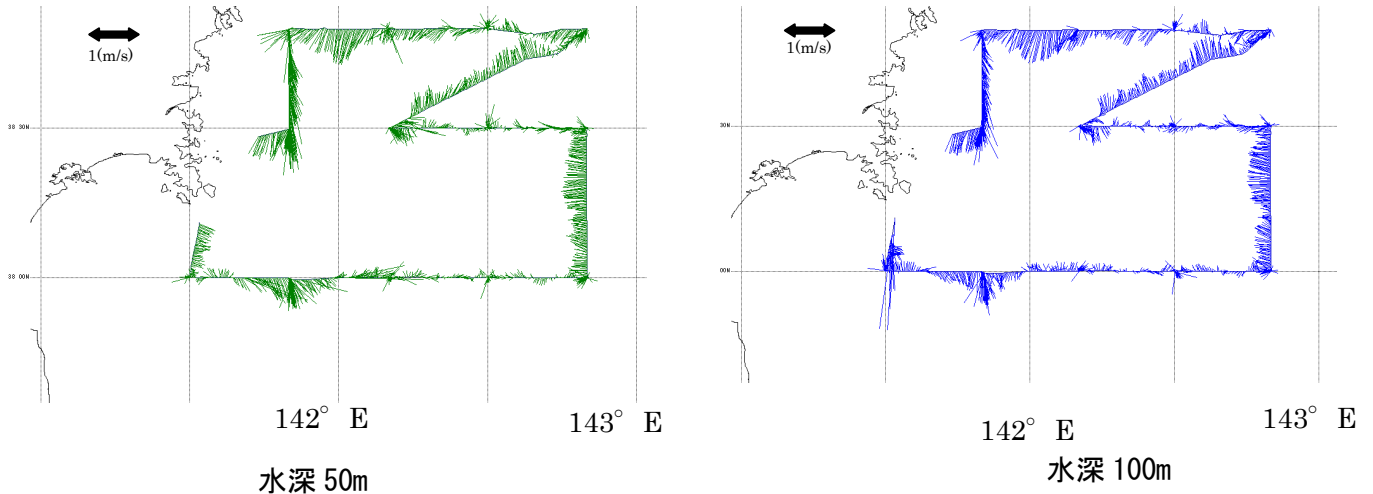
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。50m,100m 深とも 38° 50′ N ラインは概ね南向きの流れ、38° N ラインは 142° E 以西は概ね南向きの流れ、142° E 以东は北向きの流れが観測されました。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

平成 27 年 11 月の県内魚市場における主要魚種の水揚量は以下のとおりです。特にマコガレイは前年比 6 倍増となっています。一方、サンマは前年比 40%、シロサケは前年比 50%となっています。

主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:平成27年11月1日~11月30日)

単位:トン

	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網 全漁法	イカ釣り	延縄	その他	総計	前年同月比
カツオ									0	3	3	85%
ビンナガ									186	36	222	53%
クロマグロ(メジ含む)						1	0		1	2	3	47%
メバチ(ダルマ含む)									116	0	116	31%
マイワシ			57			148	0			35	240	9%
カタクチイワシ						353				15	367	183%
サバ類	154	1	10,206			185	13			10	10,569	127%
サンマ				8,522		46				5	8,573	40%
ブリ	4	1	984			66				3	1,059	378%
マアジ	3	1	0			25				7	36	96%
サワラ	1	0	0			18	2		0	0	21	124%
スルメイカ	608	0				2	0	4		4	618	32%
ヤリイカ	49	3	1			8				1	61	17%
マダラ	298	0				0	0			188	486	92%
スケトウダラ	48	0				0	0			4	52	288%
マアナゴ	15	7				0				21	43	60%
ヒラメ	112	47				5	7			6	178	157%
マコガレイ	45	37					1			1	84	634%
マガレイ		2					0			1	3	4%
ババガレイ	4	0				0				2	7	52%
シロサケ	14	1				602	95			326	1,038	53%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)
※空欄は水揚げがないことを示し、0は1トン未満の水揚げを示す。

5. 調査船運航計画

みやしお	
12 月 11 日 ~	1 月 12 日 ドック

開 洋	
12 月 14 日 ~	1 月 12 日 ドック